

広水監第4号
令和7年10月28日

奈良県広域水道企業団
企業長 山下 真 殿

奈良県広域水道企業団監査委員
代表監査委員 森田 康文

令和6年度磯城郡水道企業団水道事業会計決算及び奈良広域水質検査
センター組合歳入歳出決算に関する審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、令和6年度磯城郡水道企業団水道事業会計
決算及び奈良広域水質検査センター組合歳入歳出決算を審査したので、その結果について意
見を付して提出します。

意見書

審査に付された磯城郡水道企業団水道事業会計の令和 6 年度決算報告書、財務諸表及び附属書類並びに奈良広域水質検査センター組合の令和 6 年度歳入歳出決算資料について、質問及び関係資料との照合などの概略的手続を実施したところ、手續を実施した限りにおいて適正に処理されていないと認められる事項はなかった。

令和 7 年 10 月 28 日

代表監査委員 森田 康文

監査委員 福竹 徹

令和 6 年度磯城郡水道企業団水道事業会計決算及び奈良広域水質検査センター組合歳入歳出 決算審査意見書

第 1 審査の対象

- (1) 令和 6 年度磯城郡水道企業団水道事業会計決算
- (2) 令和 6 年度奈良広域水質検査センター組合歳入歳出決算

第 2 審査の日

- (1) 令和 7 年 7 月 23 日（水）及び 8 月 28 日（木）
- (2) 令和 7 年 8 月 28 日（木）

第 3 審査の方法

審査に当たっては、水道事業会計の決算報告書、財務諸表及び附属書類並びに組合の歳入歳出決算資料が関係法令に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を明瞭に表示しているかどうかを検証するため、関係資料を照合するとともに、関係職員の説明を求め慎重に審査を行った。

第 4 審査の結果

1 総括

審査に付された決算報告書、財務諸表及び附属書類並びに歳入歳出決算資料は、上記の審査手続を実施した限りにおいて、関係法令に準拠していないと認められる事項はなかった。

2 決算の概要

(1) 磯城郡水道企業団

① 令和 6 年度決算状況

【経営成績】

	金額	構成比
営業収益	1,101,531,544 円	100.0%
営業費用	1,031,540,677 円	93.6%
営業利益	69,990,867 円	6.4%
営業外収益	147,873,780 円	13.4%
営業外費用	21,775,234 円	2.0%
経常利益	196,089,413 円	17.8%
特別利益	39,127,999 円	3.6%
特別損失	124,959,346 円	11.3%
当年度純利益	110,258,066 円	10.0%
前年度繰越利益剰余金	412,173,371 円	37.4%
当年度未処分利益剰余金	522,431,437 円	47.4%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

【予算の執行状況】

収益的収入

予算額 1,353,421,000 円 決算額 1,408,637,205 円 増減額 55,216,205 円

収益的支出

予算額 1,296,820,000 円 決算額 1,260,339,627 円 不用額 36,480,373 円

収入支出差引

予算額 56,601,000 円 決算額 148,297,578 円

資本的収入

予算額 467,814,000 円 決算額 351,868,200 円 増減額 △115,945,800 円

資本的支出

予算額 885,037,000 円 決算額 777,614,211 円 不用額 107,422,789 円

収入支出差引

予算額 △417,223,000 円 決算額 △425,746,011 円

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

② 統括事項

損益計算書において、令和 6 年度決算の状況は、営業収益は 1,101,531,544 円、営業費用 1,031,540,677 円で、営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は 69,990,867 円であった。また、営業利益に営業外収益 147,873,780 円、営業外費用 21,775,234 円を加減した経常利益は 196,089,413 円、経常利益から特別利益 39,127,999 円、特別損失 124,959,346 円の差引額△85,831,347 円を差し引いた当年度純利益は 110,258,066 円であった。本年度末処分利益余剰金は 522,431,437 円である。

経営の健全化を示す経常収支比率は 118.6% であり、健全経営の水準とされる 100% を上回った。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は 108.5% で、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる 100% を超える数値であった。

また、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は 54.2%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は 23.5%、本年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は 1.2% であった。

(2) 奈良広域水質検査センター組合

① 令和 6 年度決算額

歳入決算額 276,237,024 円

歳出決算額 223,202,560 円

差引額 53,034,464 円

② 統括事項

歳入決算は、予算現額 274,900,000 円に対し、収入済額が 276,237,024 円であった。収入率は 100.5% であった。対前年度比では 163,099,000 円、対予算収入率では 3.6 ポイント増加となっている。これは、検査手数料及び繰入金等の増加が主因である。

歳出決算は、予算現額 227,200,000 円に対し、支出済額が 223,202,560 円で、執行率は 98.2% であった。事業については予定どおり執行されていた。対前年度比では 116,939,584 円、対予算執行率では 7.2 ポイント増加となっている。これ

は、職員の給与・職員手当等及び財政調整基金を構成市町村へ償還する費用及び検査センター管理費等の増加が主因である。

歳入歳出差引額は、53,034,464 円で、翌年度へ繰り越すべき財源はないことから、その全額が実質収支額である。前年度（6,874,649 円）に比べて、46,159,815 円増加している。これは奈良県市町村総合事務組合からの脱退による退職手当給付金積立金の還付が主因である。

第5 むすび

令和6年度磯城郡水道企業団水道事業会計決算及び奈良広域水質検査センター組合歳入歳出決算の概要は以上のとおりである。事業遂行に係る事業費支出等について特に問題点は認められない。